



1992年12月、国連総会において、毎年3月22日が「世界水の日 (World Water Day)」として定められました。水の大切さや、きれいで安全な水を使用できるようにすることの重要性を世界中の人々と一緒に考えるための日です。

世界ではおよそ21億人の人々が、必要な時に自宅できれいな水を飲むことができず、また、およそ45億人もの人が安全に管理されたトイレを利用することができません。

「世界水の日」には世界の水問題に目を向け、自分たちにできることは何かあるのかを考えてみるのもいいですね。

DUCTILE TIMES編集部

「ジャパンラグビー トップリーグ2021」開幕

2021年2月20日(土)に「ジャパンラグビー トップリーグ2021」が開幕しました。リーグ戦は2月20日(土)～4月11日(日)の期間で、クボタスピーアーズはレッドカンファレンスで戦います。応援のほどよろしくお祈りします。

スマホで簡単

施工情報システム

※2021年夏サービス開始予定

2020年10月号でもご紹介した「施工情報システム」が、工事会社様からご支持をいただき、試験施工の実施が増えてきています。

本システムは、施工現場でスマートフォン (iPhone) 上のシステムに施工手順通りに接合情報を入力し、接合した継手写真を登録することで施工管理書類等が自動作成され、ウェブ上でリアルタイムに確認・出力することができます。

事業者様にとっては、品質管理の維持・向上を図ることができ、工事会社様には、施工管理を効率化することが可能なシステムです。



また、今回ご紹介した「施工情報システム」を活用して施工品質をよりいっそう向上させるために新たな技術開発にも取り組んでいます。現在、開発中の「サイトチェッカー」は、直管継手のゴム輪位置を容易に測定することが可能で、測定結果を「施工情報システム」にデータ送信することができます。測定値をメモ書きする必要がなく、誤記を防止することができるようになりました。また、専用の治具にセットしたスマートフォンで撮影した写真より画像解析を行い、継手の屈曲角度を判定するアプリケーションも開発中です。

本システムのデモンストレーションを現地及びオンライン説明会で実施しておりますので、ご要望がございましたら是非、お気軽に営業担当者までご連絡下さい。



施工情報システムをご試用いただいた 工事業者様のお声



鈴鹿市上下水道局様の配水管移設工事現場 (GX形ダクタイル鉄管 呼び径100) において、施工情報システムを試験的に利用しました。

(有)川端工業では、施工した翌日までに接合チェックシートを鈴鹿市上下水道局様へFAX送付しています。今までは、施工終了後に会社へ戻ってから現場で記入したチェックシートの内容を確認・清書していました。施工情報システムを使用することで、会社へ戻ってからの事務作業の手間が大幅に省けることが分かりました。また、チェックシートだけでなく、日報や管割図が同時に作成されるのも便利だと感じました。

施工情報システムを初めて使用したので、明細入力に少し手間取ることがありましたが、操作に慣れれば事務作業の効率化が大幅に図れると思います。

(三重県鈴鹿市 有限会社川端工業 代表取締役社長 川端様)

岐阜県恵那市上下水道課様の布設替え工事 (GX形ダクタイル鉄管 呼び径75~250) において施工情報システムを試験的に利用しました。これまでは、現場でチェックシートへ記入し、作業終了後に会社へ持ち帰り清書していました。本システムを使用すると、現場で手順に沿って入力するだけで、正確に記録・整理されます。

接合の合否も端末で確認ができるので、接合ミスを防ぐことができます。現場で書類を完成させることで作業終了後の書類作成を短縮することができました。

また、端末に保存された過去の記録内容も現場で簡単に確認ができること、接合要領書が内蔵されていることも便利だと思えます。普段使い慣れているスマホ感覚で操作でき、ポケットに入れて持ち運びできることも使いやすさと感じました。

事務作業の簡素化に繋がると思っていますので、チェックシートや日報だけではなく、他の書類の作成など 操作性の向上とともにこれ1台で現場管理ができるようなシステムに仕上げてもらいたい事を期待しております。

(岐阜県恵那市 有限会社可知水道 高阪様)